

令和6年度

社会福祉法人富山市社会福祉協議会 事業報告

わが国では、人口減少・少子高齢化を背景とした福祉分野における担い手不足がますます深刻化しており、生活困窮者への支援、孤独・孤立問題といった様々な福祉ニーズへの対応が大きな課題となっております。

こうした課題に対応するためには、地域住民や地域組織が主体となり、それぞれが連携・協働しながら、かつ、持続可能な形で、地域による福祉活動を展開していくことが求められており、このため地域におけるコミュニティの育成や活動の支援として、重層的支援体制整備事業や成年後見制度利用促進体制整備事業等の施策が進められているところであります。

こうした中、富山市では、高齢者、障害者、子どもなど対象者別の個別計画との整合や連携を図るとともに、新たに重層的な支援体制の整備に関する視点を取り入れた「地域福祉計画」を策定され、地域福祉を推進していくための取り組みの方向性や基本的な考え方が示されたところであります。

本会におきましては、富山市が策定した「地域福祉計画」と相互に連携しながら、地域住民の意識の醸成や組織化を図っていくための行動計画として、令和6年度に、「第4次地域福祉活動計画」（令和7年度から令和11年度）を策定したところであります。

また、具体的な取り組みといたしましては、地域ぐるみ福祉活動推進事業やケアネット活動事業、生活支援体制整備事業などを通して、関係団体との連携を図りながら、地域づくりの担い手となる人材確保に努め、地域の課題解決に向けた支援を実施したところであります。

さらに、生活困窮者自立支援事業をはじめとする各種相談機能の充実を図り様々なニーズに応えるとともに、とやま福祉後見サポートセンターでは中核機関として、成年後見制度の利用促進、市民後見人の養成、法人後見業務の受任や後見活動の支援など実施し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざし、協働して支え合う仕組みの構築に向け、各種施策を推進してきました。

令和6年度においても法人の基盤及び機能強化を図り、地域住民との協働や関係機関・団体との連携を図りながら各種事業に取り組みました。

令和7年6月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 高 城 繁